

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	かわの きみひこ		
氏名	河野 公彦		
所属	inc1合同会社		
役職	代表		
活動エリア	東京都、神奈川県、鳥取県、兵庫県、福岡県、長崎県、鹿児島県、沖縄県		
連絡先	住所	〒 141-0022	東京都品川区北品川5-12-4 リードシー御殿山ビル7F-13
	電話番号		
	メールアドレス	kawan@inc1.co.jp	
キャッチコピー	世界に通用するサステナブルなまちづくり支援を目指すサステナブルクリエイター		
自己PR	<ul style="list-style-type: none"> ・事業デザインを通じて持続可能な地域づくりを支援する、サステナブルクリエイターです。 ・本来持つ地域の力を最大限活かした、日本独自の地域SDGsづくりを支援します。 ・プライベートでは空手、読書、ダイビング、飲み会等を楽しむ、二兎のババです。 <p>☆持続可能な地域づくりの根幹は地域の存在意義や理念等を明確にすることで過去に感謝し、ビジョンやミッション等を明確にすることで人、コト、物づくりで未来に期待できる地域であることです。 一緒に魅力的な地域にしていきたいと思います。</p>		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	inc1合同会社	https://inc1.co.jp/	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p><経歴></p> <p>2005年～ 広島大学大学院国際協力研究科 卒業/ アミタ株式会社 入社 環境コンサルの会社にてリサイクルソリューション営業、再生可能エネルギーの地産地消を目指す新電力事業支援、森林/牧場事業、上場企業の経理財務、IRなどを幅広く経験。</p> <p>2015年～ 株式会社アミタ持続可能経済研究所 入社 ベトナムのカットハ島にて自立分散型の地域循環モデル構築のための実証実験を実施。</p> <p>2015年～ 河野経営コンサルティング事務所 設立 中小企業診断士の資格取得に伴い経営と環境のコンサルタントとして独立。 東京都信用保証協会、ミラサポ、東京商工会議所、長崎県や鹿児島県の商工会連合会等の専門家。</p> <p>2017年～ inc1合同会社 設立 経営、環境及びITのコンサルティング及び事業開発会社として設立。</p> <p><受賞歴></p> <p>2023年～ ふるさと財団 ふるさとのづくり支援事業 審査員就任 2024年～ 弊社などが支援している、長崎県東彼杵郡波佐見町が令和5年度 ふるさとづくり大賞優秀賞(総務大臣表彰)を受賞 2025年～ ふるさと財団 地域未来創生スクール 講師就任</p>		
3. 取組分野			
観光	()		
移住・定住・関係人口	()		
農林水産業	()		
● 起業支援	(世田谷区にて創業窓口業務、創業セミナーを実施)		
まちなか再生	()		
集落再生	()		
● 環境	(波佐見町などで地域内循環モデルなど環境、サステナブルなまちづくりを実施)		
● その他	(波佐見町などで陶磁器など地域の産業振興を実施)		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家 (活用助成)	2020～22年度 長崎県波佐見町「地域循環モデル構築をベースとした地域価値創造事業」		



5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : 波佐見町における石膏の豊かな地域内循環モデルづくり (2)対象地 : 長崎県東彼杵郡波佐見町 (3)事業目的: 厄介物の廃石膏(廃棄物)の価値を再発見し、アップサイクルすることにより地域内で価値が増幅し、人、物、事、経済が持続的に循環していくこと</p> <p>(4)事業内容: 廃石膏の地域内循環は大きく3つの輪があり、価値が増幅していく展開を行っている。 1つ目は農地の副産物肥料化、ブランド農作物づくり、そして器とのセットお土産(お土産づくりは別の専門家が実施)づくりを展開して価値が増幅。陶農の歴史文化のある、まちとして展開する。 2つ目は建物の内外装づくり、また集合美をつくることで観光資産に結び付けることで価値が増幅。 3つ目は土木材づくり、また土木づくりのプロセスで発生する排熱からCO2を吸収しながら土木材をつくることで価値が増幅。 これらに対して地域の内外の人たちが共感し、リテラシーを上げていくことでサステナブルに意識の高い、ウェルビーイングで魅力的な町にしていく。</p> <p>(5)事業による成果: ①リサイクル率:95%以上を達成(中間処理場の採算性の改善もしている)。 ②石膏の副産物肥料登録完了。数tの利活用が進んでいる。 ③石膏の建物の内外装として利活用する建材のJIS認定をクリア。町役場の新庁舎をはじめ様々なスポットで利活用している。 ④窯業界のリーダー的存在の卸商業組合でサステナブルイベントを開催。毎年、1日あたりの来場客数が伸びている。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (2)対象地 : ○○県 ○○町 (3)事業目的: (4)事業内容: (5)事業による成果:</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (2)対象地 : ○○県 ○○市 (3)事業目的: (4)事業内容: (5)事業による成果:</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1)事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (2)対象地 : ○○県 ○○村 (3)事業目的: (4)事業内容: (5)事業による成果:</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のコアとなる企業、組合、振興会などの支援を実施 1. 沖縄県恩納村 <ul style="list-style-type: none"> ・ダイビングショップ個社に対してものづくり補助金を取得し、ガス充填ステーションを設立。そのステーションでレンタルするガスボンベの売上の一部をサンゴの養殖に寄付する取組みを実施。ガス充填するダイビングショップの会社群で海の環境改善を行い、それが顧客へのサービス充実度に繋がるモデルをつくる。また、独自のブランディング、プロモーション(外注先と協業)により前年度の1.5倍の売上に達し、単年黒字化に寄与。 2. 長崎県陶磁器卸協同組合、波佐見焼振興会 <ul style="list-style-type: none"> ・組合員の経営実態調査を行い、助言。そもそもを見つめなおし、新たなサービスや事業を創出するためにビジョン、ミッション、バリューの設立及び複数の具体策づくりの支援を3年間実施。複数の具体策のうち海外進出などを複数社が東になって行う案は個別に継続支援中。2025年内に海外のフラッグシップ店にて催事を行い、継続的に取引する糸口をつくる予定。 3. 鹿児島県いちき串木野市 <ul style="list-style-type: none"> ・長年、有機栽培を行い、特殊な発酵技術を持つ個社の特性を活かして『豊かな食の循環モデル』を構築すべく、ローカル10000申請予定(また、本モデルを各地域の特徴に併せて展開する予定)。 <p>そのほか、東京、神奈川、福岡、鳥取等にある個社10社程度に対して経営コンサルティングを実施中。 また、リサイクルを中心としたサステナブルな支援を数社実施中。</p>